

# 令和元年度豊かなむらづくり全国表彰事業において 「伊江村字西江上区」が天皇杯を受賞しました

農林水産祭の表彰行事の一部門（むらづくり部門）として実施されている「豊かなむらづくり全国表彰事業」において、「伊江村字西江上区（にしえうえく）」が、農林水産大臣賞、さらには全国で最上位の天皇杯を受賞しました。

これを受けて、11月14日に明治神宮会館で開催された農林水産祭式典において、江藤農林水産大臣から、「伊江村字西江上区」を代表して知念区長に表彰状と天皇杯が授与されました。また、11月25日には、沖縄総合事務局において農林水産大臣賞伝達式と天皇杯授与報告が行われました。

## 沖縄総合事務局での農林水産大臣賞伝達式と天皇杯授与報告



（前列中央3名左から、島袋 伊江村長、  
知念 西江上区長、並里 元組合長。  
後列右から、名嘉真 区書記、山城 元区長）

## 農林水産祭での受賞



（会場：東京都渋谷区明治神宮会館）

「部門」は、農林水産祭の表彰行事7部門の一つとして昭和54年に設けられたもので、農林水産業の振興を中心に、生活、文化な

に向けた様々な努力や成果が高く評価され、今回の天皇杯受賞に至りました。今号の特集では、この「伊江村字西江上区」の取組を詳しく御紹介するとともに、受賞に当たつての知念区長の喜びの声をお伝えします。

## 1. 西江上区の取組について

### ① 西江上区の概要

西江上区のある伊江村は、沖縄本島の本部半島から北西9kmの洋上に位置する周囲22.4kmの島で、人口4,567人（令和元年5月31日現在）の1島1村です。西江上区は、伊江島の中央や北側に位置し、人口約670人、農家戸数約140戸で、島の中で農業が盛んな地区です。

### ③ 農業用水確保の取組

伊江村では、保水力の非常に乏しい珊瑚石灰岩土壌が広がっていることや、6～10月にかけて台風襲来の頻度が高いことから、干ばつや台風など天候に左右される不安定な農業を強いられてきた歴

どを含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図っている地域・団体を表彰しています。

「伊江村字西江上区」は、営農や生活面で様々な条件不利を抱えた離島における農業用水確保への努力や、地域行事による伝統文化の継承など、地域の発展

## 伊江村の位置



### ② 村づくりの特色

伊江村には、離島苦、水不足問題、戦災、基地問題などの苦境を耐え忍んできた歴史があり、根性と忍耐強い島民気性は、「イーハッチャー」（負けん気性、進取の気性）という言葉で表現されています。西江上区では、先人たちの「イーハッチャー」気質を継承しつつ、区民が「一体となつて創意工夫を重ねながら、農業の振興や伝統芸能の継承に取り組んでいます。

史があります。

農業が主産業の島で、農業による生活が成り立たず、人口流出が進んでいくことが予想されたことから、西江上区をはじめとして、地域・区・村が一体となって立ち上がり、「天候に左右される農業からの脱却」を目指した取組が進められてきました。その結果が進められてきました。その結果

用水源が確保されたことで「水あり農業」への展開が可能になり、現在では、さとうきび、花き、葉たばこ、野菜の生産や畜産が営まれています。

#### ④伝統文化継承の取組

伊江村では、国的重要無形民俗文化財である「伊江島の村踊」をはじめ、島独特の民俗芸能が数多く保存されていて、芸能文化の島として注目されており、現在でも、村内各地区が輪番制で、8年に一度、村踊を披露しています。これに加え、西江上区では、区内の若手で構成される青年会が、村踊を継承していくことを目的として、2年に一度開催される敬老会において村踊を演じています。

#### 輪ざくの栽培風景



(平張施設における栽培)

#### 葉たばこの栽培風景



(正面は伊江島のシンボルである城山(ぐすくやま))

#### 伊江村の伝統芸能



(区民による村踊の披露)

## 2. 知念区長のコメント

昭和54年以前は、農業用水を満足に確保できず、農業生産額は1戸当たり160万円程度と将来は過疎化することが簡単に予想できる地域でした。

この現状を開拓するため、儲かる農業、魅力ある農業を目指し、区民が一丸となって水確保事業などの推進に取り組み、昭和55年に西部かん水組合を発足させたなど、伊江村でかんがい農業を先駆けて行いました。西江上区の農家所得が増加することにより、かんがい農業の重要性を島全体に浸透させることができました。

現在は、担い手も増え、地域の牽引役となり、新技術導入も図られています。農業振興が進むことにより、牛肉や黒糖、小麦、紅イモ、ピーナツなどの特産物が作られ、6次産業化にもつながっています。

平成15年から始めた修学旅行を主とした民泊は、現在では村全体に広がり、年間300校、4万人を受入れるまでに拡大し、また、修学旅行生が地域住民と

共同で海岸の清掃活動に取り組むなど、都市と村の交流を通じて農村の魅力を発信しています。

こうした取組における“イーハツ”チャーチ精神（負けん気性、進取の気性）が認められたことが今回の受賞の理由であり、評価された

ものと思っています。この賞を契機に、地域住民の農業所得の向上と、西江上区の更なる発展を目指し頑張っていきたいと思います。

#### 区民の喜びの集合写真

